

第Ⅰ期・Ⅱ期一般廃棄物最終処分場維持管理記録票

平成30年3月

設置主体名	美幌町	汚水処理方式	生物処理(回転円板法)
施設名	美幌町廃棄物処理場	汚水処理能力	25 m ³ /日
埋立地面積	42,900 m ²	汚水調整池容量	1,200 m ³
埋立地容量	391,955 m ³	目標	BOD 30 mg/ℓ
技術管理者名	金澤 亮	水質	S S 60 mg/ℓ

埋め立てた廃棄物の種類及び数量

一般廃棄物(可燃・不燃混合)		0 t	0 m ³
あわせ産廃	ばいじん(下水汚泥焼却)	0 t	0 m ³
	汚泥(下水汚泥、無機汚泥)	0 t	0 m ³

第Ⅰ期・Ⅱ期埋立処分場残余容量(平成28年度末)

505 m³

堰堤、遮水工、調整池、集水配管等の防凍、侵入防止柵、立札及び浸出液処理設備点検状況

1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日
○	○	○		○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日	
○		○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	

点検結果 ○:異常なし ×:異常あり ●:改修済

◎その他特記及び異常時に措置を講じた年月日及び内容等

- ・第2脱窒槽回転円板水中軸受反転修繕のため処理停止(3/2~)

地下水及び放流水の水質測定結果

(単位 / PH:— 大腸菌群数:個/cm³)

ダイオキシン類:pg-TEQ/L その他の項目:mg/L

分析項目	放流水			地下水		
	放流水	地下水A	地下水B	放流水	地下水A	地下水B
水素指数(PH)				シアン化合物		
生物化学的酸素要求量(BOD)				全シアン		
浮遊物質(SS)				ポリ塩化ビフェニル(PCB)		
大腸菌群数				トリクロロエチレン		
n-ヘキサン抽出物質(鉱油類)				テトラクロロエチレン		
n-ヘキサン抽出物質(動植物油脂類)				ジクロロメタン		
フェノール類				四塩化炭素		
銅				1,2-ジクロロエタン		
亜鉛				1,1-ジクロロエチレン		
溶解性鉄				シス-1,2-ジクロロエチレン		
溶解性マンガン				1,2-ジクロロエチレン		
クロム				1,1,1-トリクロロエタン		
ホウ素及びその化合物				1,1,2-トリクロロエタン		
フッ素及びその化合物				1,3-ジクロロプロペン		
アモニウム化合物、亜硝酸及び硝酸化合物				チウラム		
窒素				シマジン		
リン				チオベンカルブ		
アルキル水銀化合物				ベンゼン		
水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物				セレン及びその化合物		
総水銀				1,4-ジオキサン		
カドミウム及びその化合物				塩化ビニルモノマー		
鉛及びその化合物				ダイオキシン類		
有機燐化合物				塩素イオン		
六価クロム化合物				電気伝導率		14.3 221
砒素及びその化合物						

備考1) 放流水の水質測定結果において、複数回実施している項目は月間平均値を記載。

備考2) 地下水Aは第Ⅱ期埋立地Bルート側、地下水Bは第Ⅰ期埋立地側側の設置井戸より採水。 採水日 平成30年3月30日

◎その他特記及び異常時に措置を講じた年月日及び内容等

第三期一般廃棄物最終処分場維持管理記録票

平成30年3月

設置主体名	美幌町	汚水処理方式	生物処理(接触曝気法)
施設名	美幌町廃棄物処理場	汚水処理能力	30 m ³ /日
埋立地面積	16,240 m ²	汚水調整槽容量	2,877.4 m ³
埋立地容量	97,000 m ³	目標	BOD 20 mg/ℓ
技術管理者名	金澤 亮	水質	S S 30 mg/ℓ

埋め立てた廃棄物の種類及び数量

一般廃棄物（可燃・不燃混合）	456 t	186 m ³
あわせ産廃	ばいじん（下水汚泥焼却）	0 t
	汚泥（下水汚泥、無機汚泥）	21 t

第三期埋立処分場残余容量（平成28年度末）

88,454 m³

堰堤、遮水工、調整池、集水配管等の防凍、侵入防止柵、立札及び浸出液処理設備点検状況

1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日
○	○	○		○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日	
○		○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	

点検結果 ○：異常なし ×：異常あり ●：改修済

◎その他特記及び異常時に措置を講じた年月日及び内容等

地下水及び放流水の水質測定結果

(単位 / PH:— 大腸菌群数:個/cm³)

ダイオキシン類:pg-TEQ/L その他の項目:mg/L)

分析項目	放流水			地下水		
	放流水	地下水A	地下水B	放流水	地下水A	地下水B
水素指数(PH)	7.7	/	/			
生物化学的酸素要求量(BOD)	46.5	/	/			
浮遊物質(SS)	2.4	/	/			
大腸菌群数	110	/	/			
n-ヘキサン抽出物質(鉱油類)	/	/	/			
n-ヘキサン抽出物質(動植物油脂類)	/	/	/			
フェノール類	/	/	/			
銅	/	/	/			
亜鉛	/	/	/			
溶解性鉄	/	/	/			
溶解性マンガン	/	/	/			
クロム	/	/	/			
ホウ素及びその化合物	/	/	/			
フッ素及びその化合物	/	/	/			
アモニウム化合物、亜硝酸及び硝酸化合物	/	/	/			
窒素	5.0	/	/			
磷	0.2	/	/			
アルキル水銀化合物	/	/	/			
水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物	/	/	/			
総水銀	/	/	/			
カドミウム及びその化合物	/	/	/			
鉛及びその化合物	/	/	/			
有機燐化合物	/	/	/			
六価クロム化合物	/	/	/			
砒素及びその化合物	/	/	/			
ダイオキシン類	/	/	/			
塩化ビニルモノマー	/	/	/			
塩素イオン	/	/	/			
電気伝導率	/	/	/		10.9	16.9

備考1) 放流水の水質測定結果において、複数回実施している項目は月間平均値を記載。

備考2) 地下水Aは第三期埋立地上流側、地下水Bは第三期埋立地下流側の設置井戸より採水。 採水日 平成30年3月30日

◎その他特記及び異常時に措置を講じた年月日及び内容等